

令和4年度 帯広市立清川中学校経営方針について

帯広市立清川中学校長 櫻井知克士

新型コロナウイルスが未だ収束のきざしが見えないまま、3年目の春を迎えました。ワクチン接種は進んでおりますが、私たちの生活は相変らず人間同士の関わりが制限される状況は変わっておりません。このような中、子供たちの成長は止まることはありません。

学校は現状を踏まえ、出来ない理由を探すのではなく、コロナ禍を逆手にとり、積極果敢に挑戦、チャレンジする姿勢を持って生徒の指導にあたっていくことが必要です。そこで、今年度は学校として『挑戦』という言葉の前面に出し、生徒の教職員も『Let's challenge』したいと考えます。

そこで、コロナ禍を経験することが子ども達の力となり、今後、更に加速することが予想される社会の変化に対し、受け身になることなく、その中から積極的にチャンスを見つけ、それを活用していくなどの新たな時代を見据えた資質・能力を学校教育、社会教育を中心として、家庭、地域と共に育てていくことが重要であると考えております。

本校としては、子どもたちの課題から具体的な身に付けさせたい資質・能力を分かりやすく、生徒・保護者・地域に提示し、学校教育目標の実現に向けて取り組んでいきます。

◇本校の教育目標

心豊かで、たくましい生徒

◇めざす生徒像

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・強くたくましい生徒

◇本年度の学校経営の重点

- 1 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組を充実させ、「チーム清川」が一丸となって組織的に学校課題の解決を目指す
 - 2 職員一人一人が互いに支え合い、互いに信頼し合い、笑顔溢れる職員室から、子どもたちに力を付けに行く教師集団を目指す
 - 3 子ども、職員、地域、すべての人たちにとって、「楽しい」と実感できる学校を目指す
- 生徒の実態を把握し、育成を目指す子どもの姿を具体化し教育活動にあたる
 - 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業と全校体制で取り組む家庭学習の充実による学力向上の取組
 - 『令和の日本型教育』と言われる、個別最適な学びと協働的な学びの実現